

市場整合的エンベディッド・バリュー(MCEV)を構成する既契約価値の試算結果について

2009年11月16日

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社

本日、11月16日に開催した、2009年度第2四半期国内機関投資家・アナリスト向けテレカンファレンスの質疑応答セッションにおいて、冒頭に以下のご説明を行いました。

なお、テレカンファレンスにおける質疑応答要旨は、後日、当社ウェブサイトに掲載の予定です。

【ご説明の内容】

ソニー生命の2009年3月末のMCEVに対する、金利変動の影響に関するご質問が多いことから、2009年9月末の市場金利を用いて2009年3月末の既契約価値を試算した結果をお伝えする。

－既契約価値について、その構成要素である確実性等価利益現価とオプションと保証の時間価値部分の変動試算を行った。2009年3月末の保有契約に対して、計算前提のうちスワップ金利だけを2009年9月末の金利に変更し試算した結果、既契約価値の当該部分は2009年3月末から約1,400億円増加となった。

－既契約価値の残りの構成要素であるフリクショナルコストとヘッジ不能リスクに係る費用については、試算を行っていない。

なお、MCEVの残りの構成要素である2009年9月末の修正純資産は、主に株価の上昇により2009年3月末から約200億円の増加となった。

上記の試算は、時間経過とともに保有契約の商品構成や市場金利以外の計算前提について変化が生じていることを考慮しておりません。また、試算の妥当性については第三者の検証は受けておりません。

以 上